

令和6年度 港区立幼稚園全園で取り組む「すくわくプログラム」

目的

- ・心が動く様々なもの・人・こととの出会いの中で幼児が探究する姿を捉える
- ・友達や教師との関わりの中で探究する過程を捉える
- ・幼児期にふさわしい形で、幼児に探究心や人と関わる力などの資質・能力を育む

キーワード 好奇心・興味や関心・試行錯誤・目的意識・協同・予測・発見・工夫 など

【発達の段階を踏まえた幼児の姿の例】

- 遊びの中で考えたり試したりして実現
- 過去の経験を生かし、必要な材料や用具を自分で選んだり探したりする
- 他児と協力
- 友達の言動に刺激を受け、新たな課題の発見、新しい方法の試行
- 目的への見通しをもって活動

【教師の関わりの例】

- 幼児が自ら気付くのを待つのか、気付くヒント（声掛け／道具等をさりげなく見せる等）を与えるのか、状況に応じて対応
- 幼児が自分で見つけられるようにものを準備
- 興味や関心が広がるように、道具の種類は豊富に（精選して）準備。
- 「どうしたらいいかな」など幼児自身に考えさせるような教師の声掛け

各園の探究のテーマ

自然との関わり

園庭の自然との関わり

光と影



海

音

活動事例

3歳児：どんな音がするかな？

環境をデザインする



用意したもの：ポリ袋・透明な飲料水容器(蓋つきのもの)・園庭の自然物(必要に応じてカゴやトレイに入れて提示)

夏の終わりから園庭の自然物を探してご馳走を作ったり、お気に入りのものを集めて袋に入れたりしていた。袋に入れることで集めたものを眺めたり、袋を振ったりしてガサガサと音がすることを楽しむ姿が見られた。教師が透明の飲料水容器を提示すると、1学期に遊んでいた手作り楽器(ビーズを入れたもの)を思い出し、楽器にしたいと園庭の自然物を探し始めた。

必要に応じて、一緒に園庭を探索したり、他学年に教えてもらうように橋渡しをしたり、一人の幼児が気付いたものに他の幼児も興味をもてるよう、保育室や園庭に並べて置いたりした。

探究活動を 実践する



年中組から探したい実の場所を教えてもらったり、ビーズのように「コロコロしたものはないかな」と探しながら見つけたものはどんな音がするか繰り返し試して楽しんでいた。

容器に花や葉を詰めたり、砂を入れたりとたくさん集めることを目的にする幼児もいた。互いにどんなものを入れたのか見せ合ったり「どこで見つけたの」と興味をもったりしてお気に入りのものを集めて喜んでいた。

花や葉を入れた容器を見て「きれい」と喜んでいた幼児も、振ってみると音がしないことに気づき、少しずつ音がするものを探すようになった。次第に「僕はこんなものを見つけたよ」「さっきと違う音がする」と自分の発見を先生や友達に伝えて喜ぶ姿が見られるようになった。また、ドングリを割ったり、ふるいにかけて大きい砂の粒を集めたりするなど、自分なりに試してみることを楽しんでいた。

振り返りを踏 まえた気づき

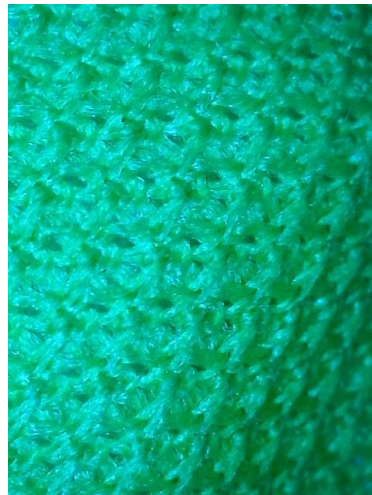
園庭で自然物を探しながら、その都度どんなものを入れるとどんな音がしたか、入れたものの大きさや数、種類による違いを幼児と一緒に楽しみながら関わるようになってきた。

学級では、「〇〇ちゃんはこんなものを入れたんだって」「どんな音がするかな」と聞き合うことで興味をもてるようにした。「〇〇ちゃんと同じドングリだけど僕のは違う音だよ」「大きさが違うんじゃない」と、なぜ違うのか考えたり、砂をびっしりと詰め込んだ幼児に「〇〇くんは砂が動かないから音がしないんじゃない」と、自分なりの気づきを伝えたりしていた。実践を通して、3歳児なりに自分で繰り返し試したり友達のものとの違いに気付いたりする姿が見られた。

活動事例

5歳児：電子顕微鏡を使いながら園庭を採検する

環境をデザインする



- ・ 前日、保育室で電子顕微鏡を使って身近な物を拡大して遊んでいた。拡大した写真を撮っておき、降園時に学級で何を拡大したか当てるクイズを行ったことで、幼児の電子顕微鏡への関心が高まった。
- ・ 電子顕微鏡を覗いた時に対象物が見やすいように、トレーを用意した。

探究活動を 実践する



- トレーに、砂や石、落ち葉などを置き、電子顕微鏡を使って観察した。
- 「違う葉っぱと比べてみよう」「どんな風に見えるかな」など、幼児なりに考えながら観察していた。



- 初めは顕微鏡が置いてある場所に自然物を持ってきて観察していたが、しばらくすると顕微鏡を持って園庭を探検し始めた。
- 慣れ親しんだ園庭を、新たな視点で探検することを楽しんでいった。

振り返りを踏 まえた気づき

- 電子顕微鏡を使うことで、肉眼では見えない繊維や模様などを見ることができて、幼児の興味や関心が高まった。また、落ち葉や苔がどうなっているか、砂と泥ではどんな違いがあるかなど、様々な疑問をもったり幼児なりに予測したりする姿につながった。
- 電子顕微鏡を用いて園庭の探検をする中で、普段あまり気にすることのない木の模様や葉脈など細かなところにも関心を向ける姿が見られた。また探検をする中で、幼児同士のやり取りが自然と増えた。